

町独自の支援で 米購入補助を

答 必要な支援事業を検討していく



大城 勇太 議員

問 物価高騰がずっと響いている中、全銘柄を調べると米は162%上昇し、米の買い控えも15%いる。金武町はプレミアム商品券を販売している。給食でも米は主食である。南風原町でも、低所得世帯や非課税世帯に町独自の米購入補助の支援が必要だと思うがどうか。

町長 物価高騰対策は、国の交付金等も活用し、関係機関と情報共有しながら、検討していく。

**少子化対策として
本町の考えは**

問 本町の近年の出生数の推移を問う。

町長 令和元年度591人、2年度568人、3年度523人、4年度497人、5年度454人となっている。

問 本町の近年の合計特殊出生率を問う。

企画財務課長 厚生労働省が公

表している最新の合計特殊出生率は2・1となっている。

問 合計特殊出生率は、女性が15歳から49歳までに産む平均の数値で、南風原町が2・10で全国6位である。2・07以上あれば自然減少にはならないが、本町は令和元年度から出生数が140名程度減っている。沖縄県が高校医療費を無料にした場合、南風原町の魅力が減ると考えるが、若い世代を増やすための今後の少子化対策を問う。

こども課長 県の方向性が出ていないので、推定での答えは差し控えるが、子どもから若者にライフステージ別に子育て支援策を充実することで子育て世帯が増える。本町は子育て支援策の充実に評価があるが、若い世代が家賃や土地が高く、住む場所が見つけないといった声もある。様々な施策を今後関係機関と連携しながら検討する。

ウルトラマンの
キャラクター設置を



問 熊本県は復興プロジェクトとしてワンピースのキャラクターの銅像を各地に設置している。本町も観光プロジェクトとして各地域にウルトラマンのキャラクターを設置できないか。

産業振興課長 観光の目玉としてキャラクターの設置はウルトラマンの権利や、その可能性について調査をしていく。